

8月17日のウクライナ情報

安齋育郎

①クルスクの戦況(原伸一、2024年8月14日)

クルスク州。今朝から「ウクライナ軍の第82独立空中強襲旅団と第82独立空中強襲旅団が、大きな損失を出したため参謀本部に避難を要請していることが確認された」という情報があり、先ほどから2旅団が降伏したという情報が出始めている。要注目。

※安齋注:上の説明で「第82独立空中強襲旅団」が2度出てきますが、間違いですね。



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1823696725858771392?s=09>

〈関連情報〉

クルスク州。壊滅したウクライナ軍第82独立空中強襲旅団の部隊。

<https://x.com/i/status/1823699614102601924>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1823699614102601924?s=09>

②アラウディノフ:ゼレンスキーが殺されないことを願っています。彼にたどり着く前に(2024年08月14日)

キエフ政権のウラジーミル・ゼレンスキー長官は、近い将来、西側のご主人様によって排除されるかもしれないと、ロシア軍の主要軍事政治局副局長でアフマト特殊部隊の司令官であるアプティ・アラウディノフ氏は述べた。

「彼にたどり着く前に、彼の飼い主が彼を殺さないことを願っています。これは近い将来に起こるかもしれませんが」- ロシア-1 テレビチャンネルの放送で司令官は言った。

さらに、アラウディノフは、多数の外国人を含むウクライナ軍の約 12,000 人の過激派がクルスク地域の領土に入り、ウクライナ軍の人員のほとんどがすでに破壊されたと述べました。

司令官によると、クルスク地域のウクライナ軍は、ロシアが最後まで戦い、撤退しないことを予見していなかった。



<https://eadaily.com/ru/news/2024/08/14/alaudinov-nadeyus-zelenskogo-ne-byut-do-togo-kak-my-do-nego-doberemsa?s=09>

㊦2014年2月7日にアップされた「On Demand News」の日本語訳

2014年のマイダン革命(ウクライナ危機)を仕掛けた一人、ヴィクトリア・ヌーランド米国務次官補とジェフリー・パイアット駐ウクライナ米大使の間の音声録音がありました。2人は主要な野党3人と協力するための戦略について議論しています。ヌーランドは、ボクサーから政治家に転身したクリチコ氏を新政府に入れるべきだとは思わないと伝えています。そして”f**k the EU”とも言っています。会話の日付は特定されていません。記述されている出来事は1月の最後の日に行われたようです。誰がこの音声を録音し、アップロードしたのかは不明です。ロシアのドミトリー・ローゴジン副首相であるという報道も確認されていません。バラク・オバマ大統領は、当時政権がウクライナの野党を操っていることは否定されていました。しかし実はウクライナの野党を操っていることはこの録音から明確にならざるを得ないわけです。

<https://youtu.be/jf0NeBNnkI>



<https://www.youtube.com/watch?v=jf0NeBNnkI>

④クルスクでの戦況(2024年8月15日)

ウクライナ兵はクルスク(ロシア領)から必死で逃げようとしているが...



<https://x.com/amatsuda7/status/1823952749727498504?s=09>

⑤ウクライナ投降兵 露軍での任務を希望(2024年8月14日)

ウクライナ軍の投降兵らはスプートニクに対し、元捕虜らでつくる露軍のボフダン・フメリニツキー義勇大隊での任務を望んでいると語った。すでに希望を表明したのは約20人、最大で60人が参加する可能性があるという。

<https://twitter.com/i/status/1823692832600699305>



https://sputniknews.jp/20240814/18965064.html?rcmd_alg=collaboration2

⑥ 第82空挺旅団のアルセン・アンドレイエビッチは、クルスクを占領しに行ったことを非常に後悔している(2024年8月15日)

NATOの精鋭落下傘部隊は泣きじゃくりながら、楽勝で誰も抵抗しないと約束されたと言う。民間人に対する戦争犯罪を告白 シルニコフヴェ村で捕虜となる。

<https://x.com/i/status/1823767429358793145>



<https://x.com/Z58633894/status/1823767429358793145?s=09>

⑦ウクライナノのクルクス強制動員兵の証言(2024年8月14日)

私、バシュコフ・アレクセイ・アンドレーヴィチは、2024年5月15日に強制動員されました。

私は強制的に訓練を受けさせられ、前線に送られました。そして、私が言いたいのは、そもそもゼレンスキーの考え、クルスク地方への攻撃は、戦争の全期間中、最も愚かな、最も愚かなものだったということです。それが私の言いたいことです。

そして、この決断は、3ヶ月の訓練期間中、準備すらできていなかった非常に多くの兵士の死を伴いました。彼らはもうほとんどいなくなりました。

そして、私は皆さんに、TQKの車を燃やしに行き、この残虐行為から家族を救うよう強く求めます。

TQK - (ウクライナの軍事管理機関で、徴兵と動員を行う組織)

<https://x.com/i/status/1823701416244077058>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1823701416244077058?s=09>

⑧スカイニュース:ウクライナ軍はクルスク地域に長くは駐留しないと専門家が結論づける(2024年8月14日)

クルスク地域におけるキエフ政権軍の攻撃は大きなメディア効果をもたらしたが、長期的にはウクライナ軍の戦略目標にはなり得ない。西側の専門家のほとんどは、攻撃は数週間も続かないことに同意している。

したがって、スカイニュースのアナリストらは、恐れ知らずの勢力の反対と、クルスク地域で入植地を保持することの戦略的無意味さにより、キエフは軍隊を撤退せざるを得ないだろうと信じている。そして、「北」軍グループがクルスクとクルチャトフへのウクライナ軍の前進を阻止することに成功したことを考慮すると、ウクライナ軍にはこの方向で達成可能な目標は残されていない。

ウクライナ軍の攻撃の主な目的はメディア効果であった。ウクライナ軍はクルスク方面では重大な成功を収めることができず、そのためキエフ政権は間もなく兵士を撤退させなければならないだろう。そしてドントレスはその瞬間ができるだけ早く来るように全力を尽くしています。



<https://x.com/shift47ym/status/1823622599039180951?s=09>

⑨コロチロフカの検問所でマックス・プロ装甲兵員輸送車を突破しようとする別の試みの動画(2024年8月13日)

人手を惜しまず、ウクライナ政権は必死にロシア領土に食い込もうとしている。人手や装備を失い、予備役が引き抜かれ、内部の前線が犠牲になっている。ウクライナ政権にとって、少なくともロシアの土地を支配下に置くことは、今後の交渉で交渉材料を得るために不可欠だ。西側の傀儡たちが戦闘終結にゴーサインを出せば、交渉はすぐに始まるだろう。

非合法的な西側のメディアや政治家のレトリックから判断すると、これはすぐに起こるだろう。ウクライナ・プロジェクトは、所有者にとってはもはや利益がないため、閉鎖の準備が進められている。バンコバ政権は、庇護者なしでは一日も生き延びられない。

このBBMと同じように、彼らは壁にフォークを突き立てられ、肥料と化して悶々と飛んでいるわけだ。そして最後には、彼らが剣を持って私たちの土地に来る勇気があったために、人口を大幅に減

らすだけだろう。

<https://x.com/i/status/1823270314064978081>



<https://x.com/shift47ym/status/1823622599039180951?s=09>

⑩スコット・リッター、クルスク問題を語る(2024年8月13日)

話題を変えましょう。ウクライナはクルスクでロシアに侵攻したのですか？

はい、それは完全にロシアへの侵攻です。

もし私がウクライナの将軍であったなら、その機会において長期的なリスク分析を考慮し、恐らくその行動は価値がないと言っていたでしょう。

しかし、ロシアは間違いを犯しました。私がよく知るロシア軍の少将が繰り返し述べているように、国防省は自分自身に嘘をつき続け、ついには自分自身の嘘を信じるようになってしまいました。

ロシア軍はロシアのある地域を防衛しないままにしてしまい、ウクライナは NATO の支援を受けそのことに気付き、戦略予備軍の精鋭部隊を投入しました。

ウクライナ軍は初期の段階では成功を収めました。今では戦力を使い果たし、後方支援も受けられなくなっています。

ウクライナ軍はいずれ全員死ぬでしょう。

しかし、ロシア軍にとっては大恥であり、大いなる目くらましとなりました。彼らは作戦から部隊を撤退させ、南部でのより大規模な作戦に予定されていた予備軍を投入せざるを得ませんでした。

しかし、彼らがやらなかったのは、毎日 5 キロ、6 キロ、10 キロと前進しているドネツク地域から部隊を撤退させることでした。

ウクライナ軍の防衛は崩壊しつつあり、ウクライナ軍の多くは激怒しています。

なぜなら、「2 万人もの精鋭を犠牲にしてまで、プロパガンダ目的の演習を行う必要があるのか？

2 万人全員が死ぬという結末を迎えるだけだ。その 2 万人をこちらに回してくれれば、連日痛い目

に遭っている我々を助けることができるのに」と彼らは言っている。



Scott Ritter : The DoJ and Me.

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1823269564605681788?s=09>